

令和 4 年

第 3 回（9 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通告者	8番 城後光 議員
質問事項及び要旨	<p><b>1. 町長の所信表明について</b></p> <p>鬼木という中山間地域で農業に従事され、数々のイベント立ち上げに携わられた町長に対し、新しい取組が進められるのではないかと、町民の期待の声が各方面から多くあがっている。</p> <p>(1) 子育て世代に優しいまちづくりのために、本町に不足する要素をどう考えているか。</p> <p>(2) 新たな農業担い手確保のための町単独での支援策の考えは。</p> <p>(3) 高齢者タクシー制度拡充に際して、事業者への支援をどう考えているか。</p> <p>(4) 西九州新幹線沿線自治体との連携及び二次交通整備の考えは。</p> <p><b>2. 自治体DXの取組状況について</b></p> <p>2025年に迫った自治体の基幹業務システム標準化までに残された時間は少なく、急ピッチで自治体DXを進める必要がある。</p> <p>また、新庁舎への移行は業務を大きく変える好機でもある。</p> <p>(1) 現在の自治体DXに対する検討及び行政サービスの進捗状況は。</p> <p>(2) 今後の行政サービス全体の展開予定とそのスケジュール案は。</p> <p><b>3. 野良猫を地域猫としていく取組について</b></p> <p>長崎県では、動物の愛護及び管理に関する基本原則と、県・市町の責務などを定めた条例を制定される予定であり、今年7月にはパブリックコメントが実施された。</p> <p>特に、野良猫をめぐる問題については、放置されたネコが大量に子どもを産むことなど、住民トラブルの要因となる一方で、地域において適切に管理されたネコは、地域猫として地域コミュニティを円滑にする役割を果たしている事例も存在する。</p> <p>(1) 本町における野良猫についてどのような問題が生じているか。</p> <p>(2) 地域猫活動に対して、今後どのように支援する考えか。</p>		

通告順位	2	通告者	6番 岡村達馬 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>前川新町長の町づくり構想について</b></p> <p>前川町長は、これまでの行政を更に進歩させるべく「継承・変革・進化」を掲げ、新しい次世代の町長として町民からの信託を受けられた。</p> <p>そこで、前川町長が描く「元気のある町」波佐見町への壮大な計画や行動を具体的にお聞きする。</p> <p>(1) 町の二大土地利用計画（農業振興地域と都市計画区域）を町づくりにどう活かしていくのか。</p> <p>(2) 少子高齢化による人口減少時代における町づくりの構想と計画をどう考えているのか。</p> <p>(3) 新世代を担う世代の子育て、教育、福祉の町づくりへの推進はどう図っていくのか。</p> <p>(4) 公共施設・インフラの整った町づくりへの具体的な計画と行動をどう考えているのか。</p> <p>(5) 「訪れたいくなる波佐見」の町づくりへの取組をどう考えているのか。</p>		

通告順位	3	通告者	5番 田 添 有 喜 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 県道及び町道の整備について</b></p> <p>コロナ禍ではあるが本町への関心は高まり、来町者は増加の傾向にある。</p> <p>また、今年の大宅建業者が運営しているポータルサイト「いい部屋ネット街の住みこちランキング2022」の調査では、県内市町中第8位であった。</p> <p>注目を集める本町の更なる発展のためには、道路環境の整備は欠かすことができない重要な課題である。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 県は、波佐見郵便局から宿郷濁淵までの歩道の整備工事を今年度中に着工予定と聞く。町は住民の安全対策として、県へどのような要望を行っているのか。</p> <p>(2) 「自転車通行可」の標識撤去に関する住民への周知状況はどうか。</p> <p>(3) 町道の歩道整備は、どのような計画で実施されているのか。</p> <p>また、町は県道の歩道整備に対してどのような要望を行っているのか。</p> <p><b>2. 河川整備について</b></p> <p>稲穂が頭を垂れ、収穫を楽しみに待つとき、大雨や台風等による被害を受けないことを願うばかりである。</p> <p>近年は、イノシシの侵入により荒らされた田畑を見ると心が痛む。</p> <p>イノシシの棲み家となっている河川の整備は急務であり、住民の生命や財産を守るためにも早急に河川整備を行うべきである。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 二級河川の整備計画はどのようになっているのか。</p> <p>また、町として二級河川の整備計画に対してどのような要望を行っているのか。</p> <p>(2) 二級河川村木川の浚渫及び樹木伐採の工事を終えて感じることは。</p> <p>(3) 川棚川に数カ所設置されている河川に下りる階段の整備がなされていない。</p> <p>町はこの件に対してどのような要望を行っているのか。</p> <p><b>3. 教育行政について</b></p> <p>人づくりや町づくりの根幹は、「教育の質の高さ」にあると考える。</p> <p>最近、新型コロナウイルス感染者の低年齢化が進み、教育活動に大きな影響を及ぼしている現状はとても悲しいことである。</p>		

また、教職員の働き方改革が進む中で多くの課題も見られる。

そこで、次のことを問う。

- (1) 町内学校の特別支援学級及び通級による指導は適切に行われているか。
- (2) 昨年、学校設備の点検が全国で実施されたが、本町ではどのような点検活動を実施し、問題となる箇所はなかったか。
- (3) 中学校における「部活動の地域移行」に対して、教育委員会のガイドラインの作成及び具体的な取組やスケジュールを定めた「推進計画」への着手はどのようなになっているか。
- (4) 毎月実施されている「あいさつ運動」の成果は。また、今後の取組についてどのように考えているか。

通告順位	4	通告者	9番 横山聖代 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>町長の所信表明について</b></p> <p>町長は所信表明で、10年20年先までを見据え今やるべき施策として、まちづくりの重点8項目を挙げられた。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 重点8項目ある中で最初に挙げられたのが「子育て世代に優しいまちづくり」である。</p> <p>どのような想いで最初に持ってこられたのか。</p> <p>(2) 高齢者支援として「支え合いまちづくり」や「高齢者タクシー制度」の拡充を挙げられている。</p> <p>本町の地理的条件を踏まえて、不足している高齢者支援をどう考えているか。</p>		

通告順位	5	通告者	1番 前田博司 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 町長の所信表明について</b></p> <p>(1) 学校給食費の無償化は時限的なものとするのか。</p> <p>(2) 高齢者タクシー券の充実を図るために路線バスにも利用できないか。</p> <p>(3) 自治体DXを進めるべきと思うが、固定費の増大とならないのか。</p> <p><b>2. ふるさとづくり応援寄附金について</b></p> <p>(1) 寄附金の目的別比率はどのようになっているか。</p> <p>(2) 寄附金の目的の項目はどうやって決められているのか。</p> <p>(3) ふるさとづくり応援基金の目的別活用割合はどうなっているのか。</p> <p>(4) 本町から他自治体への寄附金の額はどれくらいか。</p>		

通告順位	6	通告者	11番 北村清美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 町長の所信表明について</b></p> <p>(1) まちづくりの根幹となる「人」への支援はどのように考えるか。</p> <p>(2) 自助・共助・公助の考えのもと「支え合いまちづくり」を推進するためにはどのような施策が必要か。</p> <p>(3) 所信表明に掲げる施策を行うためには、職員体制の充実が必要と考えるが、その対策は。</p> <p>また、人事評価の運用は。</p> <p><b>2. 公共下水道地域の縮小による合併浄化槽の推進について</b></p> <p>中央地区における下水道環境は整備が進んでいるが、周辺地区においては、現在でも約1300世帯が汲み取り式で、合併浄化槽の普及が徐々に進んできてはいるものの整備にはほど遠い現状である。</p> <p>そこで、合併浄化槽の普及促進のために必要な施策を確認するため、次のことを問う。</p> <p>(1) 5月に実施したアンケートの結果を経ての問題点と対策は。</p> <p>(2) 下水道維持・設備投資などで一般会計からの巨額の繰入金で常態化して、償還に充てられており、更には起債による多額の支払利息も生じている。</p> <p>この状態がいつまで続くのか。</p> <p>また、抜本的な解決策はないのか。</p>		



通告順位	7	通告者	7番 福田勝也 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 町長の所信表明について</b></p> <p>町長は就任にあたり「継承、変革、進化」を基本方針に掲げ、町政に臨む所信を述べられた。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 子育て世代に優しいまちづくりについて</p> <p>①学校給食費の完全無償化とした際、その予算規模と財源は。</p> <p>②「子ども家庭センター」の具体的内容は。</p> <p>(2) 地場産業 農業と窯業の振興について</p> <p>①生地製造業者の平均年齢は。</p> <p>また、業者数の推移はどうか。</p> <p>②農業、窯業従事者の担い手不足や後継者問題の今後の対策は。</p> <p>(3) 観光交流人口の拡大について</p> <p>①「西の原」・「陶芸の館」一帯をハブとした町内周遊ルートの計画とは。</p> <p>(4) 教育、文化、スポーツの振興について</p> <p>①競技力向上、生涯スポーツの支援、対策は。</p> <p>(5) 新しい時代への対応について</p> <p>①自治体DXの具体的な内容と見込まれる効果は。</p> <p>②「ふるさとづくり応援基金」の今後の活用は。</p> <p><b>2. 副町長の選任について</b></p> <p>(1) 選任の時期は。</p> <p>(2) どのような人選を考えているか。</p>		

通告順位	8	通告者	4番 岡村 真由美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 町民霊園の無縁墓（継承者がいない墓）への対応策について</b></p> <p>昨年の12月議会以来、町民霊園についての問題点を指摘し、条例の見直し等を含め継続して改善を求めてきたが、その動きは見られない。</p> <p>(1) 7月に公告を出した無縁墓に関して、これまで町が支出した金額（欠損を含む）はいくらか。</p> <p>また、今後要するであろう金額はいくらになる計算か。</p> <p>(2) 継承者がいない墓を増やさないためにも、独居者に関しては緊急連絡先の把握が重要である。これまでどのように把握されてきたのか。</p> <p>また、生活保護世帯の場合はどうか。</p> <p>(3) 町民霊園の無縁墓への具体的な対応策について方針は。条例を見直す考えは今もないのか。</p> <p><b>2. 波佐見高校の存続について</b></p> <p>所信表明に波佐見高校支援策は全く言及されていない。危惧される地域の消滅への対応策として「10年先、20年先の一手」には含まれていないのだろうか。</p> <p>(1) 佐賀県が2023年度県立高校入試において県外入学者の上限を廃止した。町はこのことをどうとらえているか。</p> <p>(2) 有田工業高校が「地域みらい留学」の参加校になっていることについてはどうか。</p>		

通告順位	9	通告者	3番 澤田昭則 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 町長の所信表明について</b></p> <p>24年ぶりのトップ交代、前川新町長は「波佐見町の勢い」を止めないことを目標に「継承、変革、進化」を基本方針に掲げ、町政発展の施策を述べられた。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 子育て世代に対する医療環境の整備で、小児科誘致に向けての取組や新規開業に対する補助制度等を設ける考えはないか。</p> <p>(2) 観光事業で、「陶芸の館・やきもの公園」、「西の原」の観光用歩道整備や周辺整備は。</p> <p>また、新幹線開業に伴い、長崎県の玄関口である本町の観光誘客のためのPR看板等の設置は。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス経済対策で、東彼商工会への経営改善普及のため運営事業費補助金を増額する考えはないか。</p> <p>(4) 自治体DX推進で、専門的部署とはどういった事業内容等なのか。</p> <p>(5) 自治会活動の推進で、各自治会の地域活性化のための取組支援を目的として「自治振興交付金」を増額する考えはないか。</p> <p>(6) 文化の振興で、一層の振興を図るために総合文化会館や歴史文化交流館、波佐見講堂等の使用料を減額する等の考えは。</p> <p>(7) 福祉や健康の充実のため、散歩や運動のできる公園・施設等の新設や改修等の整備は。</p> <p><b>2. 物価高騰対策支援について</b></p> <p>原油価格情勢・物価高騰の影響と新型コロナウイルス感染症への対応で、今後、社会的にも経済的にも厳しい情勢が続くと予想される。</p> <p>そこで、町民や町内事業者等に対する影響の緩和を目指した物価高対策として、本町独自の支援ができないか、次のことを問う。</p> <p>(1) 今年度のプレミアム商品券事業で残った分の追加販売計画は。また、この事業は新型コロナウイルス経済対策であるが、物価高対策という側面を考慮し、継続支援事業として今後も取り組む予定はないか。</p> <p>(2) 妊婦は産前産後の準備の費用等で生活費の負担が大きく、一律10万円を給付する制度を設けてはどうか。</p> <p>(3) 家計的な負担の軽減を目的として全世帯を対象に、上水道基本料金の3か月減免を実施する考えはないか。</p> <p>(4) 農業と窯業の振興で資材高騰に対応するための町単独の補助支援制度を設ける考えはないか。</p>		

通告順位	10	通告者	12番 脇坂正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>町長の所信表明等について</b></p> <p>町長は、「子育て世代に優しいまちづくり」に取り組むと所信表明された。その関連について、次のことを問う。</p> <p>(1) 保育園・認定こども園の保育士不足の解消等について</p> <p>①保育士不足の要因は何か。</p> <p>また、その解消の時期はいつ頃を想定しているのか。</p> <p>②「保育の質を図る」とあるが、具体的にはどう図るのか。</p> <p>③他自治体では、保育士向けの支援制度を策定されているが、本町でも取り入れる予定はないか。</p> <p>(2) 放課後児童クラブ「おいでおいでルーム」は、次のことから公設民営化が必要であると考え、早急に実現してほしいがどうか。</p> <p>①現施設は、交通量が多い町道沿いにあり、広場や駐車場がなく児童の活動や送迎に支障が多い。</p> <p>②現施設は、古い民間住宅を借用しているため、面積やトイレ等の間取りに制限があり、児童の生活や活動が不便である。</p> <p>③現施設には、広場がないため、近隣の農村環境改善センターの広場を利用しているが、町道の横断など危険性が高い。</p> <p>④施設の移転・建設の候補地として、現施設に近い農村環境改善センターの空き地が最適と考える。更に図書館の併設も必要であるとする。</p>		

通告順位	1 1	通 告 者	2 番 濱 本 秋 人 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 安全な町づくりについて</b></p> <p>本町では大きな事件や事故は発生していないが、全国では子供たちを巻き込んだ事件や事故が後を絶たない。</p> <p>そこで、本町における防犯の在り方を問う。</p> <p>(1) 防犯対策の現状と課題は何か。</p> <p>(2) 防犯カメラの設置をどう考えるか。</p> <p><b>2. 学校教育について</b></p> <p>現代は昔と比べ、集団生活を苦手とする子供が多いと言われている。</p> <p>その要因としては、一人遊びができるスマートフォン等が原因とも言われており、その影響で友達同士のつながりが希薄となり、不登校の一因になっている生徒が多いとも聞く。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 不登校の現状と問題点はどうか。</p> <p>(2) その対策はどうか。</p>		

通告順位	1 2	通 告 者	1 0 番 三 石 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p data-bbox="316 309 671 342">町長の所信表明について</p> <p data-bbox="304 360 1002 394">(1) 農業振興の現状における課題と対策は何か。</p> <p data-bbox="304 412 1002 445">(2) 窯業振興の現状における課題と対策は何か。</p>		